第24号
平成20年11月

生涯学習の窓

富山大学地域連携推進機構　生涯学習部門ニュース

1．学びのあしあと

前学期の公開講座とオープン・クラスが終了しました。富山大学での学びの様子について、受講生の方々からお寄せいただいた声をご紹介いたします。



サテライト風景



公開講座風景

公開講座

○各講師が取り組んだテーマについて、独自の解釈が楽しい講義でした。（とやま学）
○今回の講座で知ったことを進めた形の講座の開催、参加した人のネットワークを広げる活動ができればよいと思いました。（発達障害とピアサポート）
○ テキストが職場の実務に沿ったもので、大変勉強になりました。難しかったですが、仕事で少しずつ生かせて行けたらと思います。（MS Office Excel 2007 によるビジネス帳票のデザイン技法）
○単にドラえもんだけでなく、速読法他色んな話を聞かせていただきました。（ようこそドラえもん世界へ）
○今回受講して一番勉強になったのは、漆芸を通して、人生観や物事の考え方、日本の伝統について学ぶことができたことです。（捲胎［ぶなこづくり］による盛り器の制作）
○自分の操作とともに先生のパソコンの画面を隣にみることができ、とてもわかりやすいと思いました。（中高年のためのＣＡＤ入門）
○ Web の最新情報が知りたかったので、はじめて聞いた言葉や技術も多く、勉強になりました。たくさん資料もいただき、私としては何冊もの本を読まなくても必要な部分が抜き出されていて、ありがたかったです。（Web2.0 と SEO の世界）
○初めてなので自分がついていけるか…不安な事も多かったのですが、講師の方々も優しく、とても親切でしたので、良かったです。（初心者のための Word & Excel 2007 講座）
○一般の市場ではあまり見られない映画、遠い国々のいろいろのことを知ることができて有意義でした。特に子どもの演技が良かったと思います。（世界の映画を見てみよう：映画に描かれた子ども達）
○先生が試験問題について大変深く研究されていて、その熱心さに感激しました。説明はとてもわかりやすかったです。（日商簿記検定２級［商業簿記］受験講座）
○先生の教え方がわかりやすく、雰囲気作りも上手で楽しく勉強できました。（ MS Office

Word 2007 でつくる業務文書のデザイン技法）
○ＨＰ作成入門としては適切であったと思います。楽しく受講できました。続編があればよいと思います。（ホームページをつくろう！）

オープン・クラス（公開授業）

○すっかり学生時代に戻ったような楽しい授業でした。本業の学生諸君のおじゃまにならなかったか…と心配しましたが、オープン・クラスの参加者も熱心で安心致しました。（教養教育）
○民間のカルチャーセンターの授業にはない学問的な雰囲気にも触れることができました。（人文学部）
○パソコンと板書を上手にバランス良く使われての講義内容で、さすがプロフェッショナルと感心しました。イントロダクションでは前回の復習からスタートされての進め方は素晴らしかったです。（経済学部）


オープン・クラス風景

○可能でしたら授業の出欠やレポート・試験にも参加できたらいいと思います。特に試験やレポートを受けることは自治体等の生涯教育との違いがはっきりでるし、受講生の刺激になるのではと思います。（教養教育）
○オープン・クラス受講生の交流の場があれば次回の受講科目の参考になるなどしていいと思う。（人間発達科学部）
○教師・社会人受講生・一般学生間で授業内容に関連して交流会、シンポジウムを開くことを考えてください。（理学部）
○テキスト通りに終わらず、学会に出席された時の当該地のスナップ写真、歴史的背景、有名小説の舞台などについて、ユーモアを交えて拝聴できた。（教養教育）
○ゼミ形式の授業で受け入れてくださる科目が一層ふえるとうれしく思います。（人文学部）
○どの科目もくじけそうになるくらい難しいが、後期も続けて受講します。（工学部）

2. 富山県民生涯学習カレッジとの連携調査・中間報告

富山大学地域連携推進機構・生涯学習部門は、今年度、富山県民生涯学習カレッジのご協力のもと、同カレッジ受講生に対し生涯学習に関する意識調査を実施しています。現在 215 人の方よりご回答をお寄せいただいております。まだ回収がすべて終了しているわけではありませんが、ここでとりあえず中間報告として、その概要のみお知らせいたしたいと思います。

回答者の属性を見ると、男女がほぼ均等で（男性 49.3%：女性 50.7%）、シニアの方が多く（50 代以下 11.7%：60 代 42.3%：70 代以上 46.0%）、富山市・高岡市に居住する方が多いです（富山市 34.4%：高岡市 20.5%：その他 44.2%）。

生涯学習機会についての情報入手方法は、カレッジからの案内が最も多く（85.6%）、その他の経路としては「知人・家族を通じて」（12.6%）、「自治体広報」（8.4%）と続きます（複数回答）。

カレッジの講座への参加回数は、「初めて」が 10.7%、2 ～ 5 回が 25.1%、6 ～ 10 回が 24.2%、11 回以上が 38.6% となっており、学習を継続的に取り組んでおられる方が相対的に多い様子がうかがえます。

「現在学んでいる・これから学んでみたい」ことについて、48 の学習項目から複数回答で選んでいただいた結果、上位 5 位だけみると①医療・健康問題（55.8%）、②郷土史・郷土文化（50.2%）、③歴史・古文書（45.6%）、④政治・経済・社会（32.6%）、⑤税金・年金・福祉（30.2%）の順となっています。「健康・生活志向」と「ふるさと志向」の二面を感じさせる結果と言えそうです。

大学開放サービスはどの程度知られているのかについておたずねしたところ、公開講座を実施していることの認知度は高く（77.7%）、反面で公開授業（35.3%）、出張講演（36.7%）、高大連携（14.0%）、生涯学習相談（11.6%）などはご存じない方が多い結果となりました（複数回答）。より一層事業のＰＲが必要のようです。

最後に、大学に対する「ニーズ」についておたずねしたところ、次のような結果が得られました。

大学公開講座はどんな内容が望ましいですか？	専門的な内容がよい（16.7%）	やや専門的な内容がよい（20.9%）	やや一般的な内容がよい（20.0%）	一般的な内容がよい（22.3%）
大学授業はどんな人に開放すべきだと考えますか？	専門家に開放すべき（6.0%）	やや専門家に開放すべき（16.3%）	やや一般に開放すべき（33.0%）	一般に開放すべき（19.5%）
大学はどんな役割を担うべきだと考えますか？	研究成果の向上を目指すべき（11.2%）	やや研究成果の向上を目指すべき（21.4%）	やや地域への貢献を目指すべき（24.7%）	地域への貢献を目指すべき（18.1%）

これらは専門性／一般性の二軸いずれのイメージを支持するかをみたものですが、授業の開放で「一般へ」の志向性がやや強い他は強い偏りが見られません。現代の大学は高度な知識・技術の「生産」とその地域社会への「還元」の両面的多様さが求められている、ということなのかも知れません。

3. 後期公開講座一覧

富山大学では、下記のように後学期の公開講座を開講しております。多くの皆様に多様な学びの機会を提供できればと思います（No.は前学期からの続きです）。

No.	（五福キャンパス）	講　師
55	変わる生活　変わる法	経済学部　竹地　潔　他
56	中級フランス語４	非常勤講師　清水まさ志
57	中国語初級（会話中心）	非常勤講師　陶　琳
58	ヘルン文庫と富山	富山国際大学　高成　玲子
59	薬膳料理を身につけて、食生活を見直そう！	和漢医薬学総合研究所　許　鳳浩　他
60	初級フランス語４	非常勤講師　清水まさ志
61	アンニョンハセヨ　韓国語入門２	とやま国際センター相談員　天坂　仁美
62	アンニョンハセヨ　韓国語初級２	とやま国際センター相談員　天坂　仁美
63	エスペラント語	人文学部　中澤　敦夫
64	中国語更なる一歩（＜話せる＞中国語中級）	非常勤講師　任　建宏
65	とことん＜子ども＞を知ろう！	人間発達科学部　野平　慎二　他
66	初心者のための Word&Excel　2007 講座（後期）	情報総合基盤センター　上木佐季子
67	ロシア語中級	人文学部　ヴェチェスラフ・カザケーヴィチ
68	山里（利賀）でそばを育て、新そばによるそば打ち体験	利賀そば研究会代表　田中　幹夫　他
69	ドイツ語　中級	人文学部　カペラ・エーファ
70	シニアから始める情報技術・インターネット活用技術	富山大学理事　山西　潤一　他
71	ホームページをつくろう！（2）	地域連携推進機構　仲嶺　政光
72	心とからだの心理学	保健管理センター　西村優紀美　他
73	世界の飲みもの文化よもやま話	飲みもの文化研究所　内田　輝廣
74	XHTML と CSS でつくる Web ページ～テキストエディタを使って～	情報総合基盤センター　上木佐季子
75	親子スキー教室	人間発達科学部　堀田　朋基　他
	（高岡キャンパス）	講　師
76	やさしい英会話～海外旅行で使える英語～	芸術文化学部　渡辺　康洋
77	テラコッタ人体制作	芸術文化学部　後藤　敏伸
78	中国や日本の建築・庭園から学ぶ美 －江南の水郷や蘇州の古典園林、福建土楼、枯山水、茶室－	芸術文化学部　松政　貞治
79	都市景観・町並みの保存・創出のなぜとどのように －京都・富山・高岡のこれからを考える－	芸術文化学部　松政　貞治
	（杉谷キャンパス）	講　師
80	国際ガイドラインによる AED を用いた心肺蘇生講習と脳卒中への対応	医学部　奥寺　敬　他

4. イベント情報

まちなかセミナー

北陸地区の４つの国立大学（富山大学、金沢大学、福井大学、北陸先端科学技術大学院大学）が共同で開催する公開講座まちなかセミナーが、「北陸発のふ・る・さ・と探訪」を共通テーマに開催されます。このセミナーの共同開催は、今年で５回目となります。

富山地区では、金沢大･福井大から講師を招き、「北陸の信仰」について理解を深めます（石川・福井地区でも同様に他県所在の国立大学からスタッフを招いて公開講座を実施します)。以下、富山地区の講座概要を記します。



前年度のセミナーは北陸地区の景観・町並みについて学びました

まちなかセミナー「北陸発のふ・る・さ・と探訪」
富山会場のテーマ：北陸の信仰



■日時：平成 20 年 11 月 15 日（土）14：00 ～ 16：30
■会場：富山駅前 CiC ビル３Ｆ　学習室
■受講料：無料、どなたでも事前申し込み不要でご参加いただけます。

5. 富山大学地域連携推進機構の設置について

富山大学生涯学習教育研究センター改組に関するお知らせをいたします。

この度，地域連携業務を機動的に展開し，地域社会の自律的発展に貢献するため，地域貢献に関連するセンター等を統合し，平成 20 年７月 22 日付けで新たなる富山大学地域連携推進機構が発足しました。

同機構は，産学連携，生涯学習，地域づくり・文化支援，地域医療・保健支援の４部門から構成され、部門間の有機的な連携を図りながら幅広く効率のよい地域貢献を推進いたします。

これに伴い，富山大学生涯学習教育研究センターも，富山大学地域連携機構生涯学習部門として生まれ変わりました。これを機に，大学の有する高度な知識・技術を広く還元し，より一層地域社会における生涯学習の振興と充実に寄与すべく努めていく所存です。

これからも，変わらぬご愛顧とご支援と賜りますよう，お願い申し上げます。


五福キャンパス正門

富山大学 地域連携推進機構 生涯学習部門長
竹内　　章

6. 会議報告

◆平成 20 年度第１回地域連携推進機構運営企画会議
　〇日時： 平成 20 年７月 31 日（木）13：30 ～
　〇場所：富山大学事務局大会議室（５階）
　〇内容：地域連携推進機構関連規則他について
◆平成 20 年度第２回地域連携推進機構運営企画会議
　〇日時： 平成 20 年９月４日（木）13：30 ～
　〇場所：富山大学事務局大会議室（５階）
　〇内容：自治体との包括協定他について



発行：富山大学地域連携推進機構　生涯学習部門／〒930-8555富山市五福3190／TEL076-445-6956／FAX076-445-6960